

施策・基本事業評価表

作成日 平成 24 年 7 月 13 日

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち
施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
主管課名	企画政策課	主管課長名	川岸勇一
関係課名	農林水産課、商工観光課、生涯学習スポーツ課、学校教育課、地域協働課、埋没林博物館、水族博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や農林水産業と連携した体験・交流の場を求めて多くの人が本市を訪れています。 ・全国に発信できる様々な芸術文化やスポーツ等のイベントが本市で開催されています。 ・国際社会への理解が進み、市民の国際感覚が豊かになり、活発な交流が行われています。 ・外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整備され、まちがにぎわっています。
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	大学女子野球など全国から多くの人が集まる各種大会やイベントを応援し、盛り上げます。 市民レベルの国際交流に参加します。
	行政	片貝山の守キャンプ場、新川学びの森天神山交流館、博物館などの宿泊型公共施設や体験学習施設の充実を図ります。 国際交流の場を企画し、提供します。 外国人が訪れやすい環境を整備します。
	その他（地域）	地域の伝統文化の伝承や、イベントの実施など地域の魅力アップを図ります。 農山漁村で自然や文化、住民との交流を楽しむことができる機会づくりに協力します。

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<p>近年、体験交流型・滞在型観光のニーズが増えており、農林水産業や自然を活用したメニューの提供や受入体制の整備が課題となっています。また、全日本大学女子野球選手権大会をはじめ全国から多くの人が本市を訪れる各種大会やイベント等を開催し、交流人口の拡大を図る必要があります。</p> <p>本市には様々な国の外国人が居住し、市民レベルの国際交流が行われています。市民にとって、国際化は身近なものになってきており、これからは、さらに外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境を整える必要があります。</p>
--------------------	--

施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
-------	----	-----	----------

基本事業名①		事業内容(活動内容)								
体験・滞在型交流の推進		自然資源を活かした体験メニューの提供や、農山村漁村に滞在するグリーンツーリズム、ブルーツーリズムの発掘に努めます。交流宿泊施設が県内外からの合宿や学習の場として多く利用されるようPRに努めます。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
農山漁村交流事業		農林水産業や自然を活用したメニューを提供します。								
交流宿泊施設利用促進事業		片貝山ノ守キャンプ場、新川学びの天神山交流館や博物館を充実し、利用促進を図ります。								
基本事業①の目的【意図】		交流人口が拡大することで、農山漁村をはじめ地域が活性化します。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
新川学びの森天神山交流館宿泊者数	人	2,646	2,800	3,000	3,200	3,300	3,400	3,500	4,000	
片貝山の守キャンプ場利用者数	人	1,925	6,000	8,000	8,500	9,000	9,500	10,000	15,000	
			7,163	6,970						
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
イベント開催、コンベンションの誘致		全国から多くの人が本市を訪れ、市民との交流の機会が拡大するよう芸術・文化、スポーツイベント等を開催します。また、各種コンベンションを誘致し、まちのにぎわいを創出します。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
コンベンション開催支援事業		県外宿泊者50名以上のコンベンションに対して1人1泊1000円を助成します。(限度額50万円)								
全日本大学女子野球選手権大会		市民ぐるみで大会を応援・協力し、開催経費の一部を市が助成します。								
魚津しんきろうマラソン		市民ぐるみで大会を応援・協力し、開催経費の一部を市が助成します。								
全国山城サミット開催		平成23年に県内山城サミットを、平成24年に全国山城サミットを魚津市で開催します。								
基本事業②の目的【意図】		全国から多くの人が各種大会やイベントで本市を訪れることで、まちがにぎわい、活性化します。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
コンベンション開催数	回	5	5	6	7	8	9	10	15	
			9	7						
魚津しんきろうマラソン参加者数	人	3,914	4,000	4,100	4,200	4,300	4,400	4,500	5,000	
			4,288	4,499	5,650					
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
国際交流の推進		国際社会との共生、交流を目指し、国際交流事業を展開します。市民間の国際交流事業の支援に努めます。外国人が訪れ、過ごしやすい環境を整備し、多様な交流を推進します。								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
国際交流推進事業		国際交流推進員やALTによる異文化交流事業や、ボランティアによる日本語教室等を実施します。								
友好親善都市交流事業		タイ王国チェンマイ市との友好交流を推進します。								
基本事業③の目的【意図】		活発な国際交流を通して、市民の国際社会への理解が進むとともに、(在住)外国人が暮らしやすくなっています。								
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
国際交流推進員登録者数	人	13	15	17	20	22	24	25	30	
外国人が訪れやすく、過ごしやすい環境が整っていると感じる市民の割合	%	13.5	15.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	30.0	
			9.9	19.2						
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	10	施策名	多様な交流の推進
-------	----	-----	----------

23年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) ①山の守キャンプ場利用者数はほぼ横ばいで、新川学びの森天神山交流館の宿泊者数は減少傾向が続いています。23年度は、室内楽の団体利用が少なかったことや、震災被災者の受入れ等が減少の理由です。 ②魚津しんきろうマラソン大会参加者数は年々増加しており、平成23年も過去最高人数を更新しました。コンベンション開催は目標を上回る開催実績となっています。 ③国際交流推進員登録者数は、平成23年度は5名増加し、目標を上回っています。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) 近隣他市においても、それぞれの特徴を生かした取り組みが実施されています。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) 市民アンケートでは、「外国人が訪れ、過ごしやすい環境が整っていると感じる市民の割合」は低い水準ですが、前年度よりも高くなっています。交流人口の拡大の必要性が議会等でも指摘されており、住民の期待水準よりも低い水準にあるといえます。
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述) ①平成21年度に自然とふれあい、宿泊も可能な施設としてオープンした「片貝山ノ守キャンプ場」では、紅葉まつりをはじめ地元主催のイベントも開催されるようになってきています。 平成23年度からは、「魚津の水循環」をテーマにしたモニターツアーを実施しています。 新川学びの森天神山交流館は、音楽や各種合宿の場として、県内外から利用されています。 平成22年度から漁業再生プロジェクトを実施し、地引き網漁業体験や漁業観光体験などで観光客誘致を図っています。 ②魚津しんきろうマラソン大会や全国大学女子野球大会のイベントには、県内外から多くの人が本市を訪れています。 平成24年度全国山城サミットに向けて、「歴史と文化の薫るまちづくり事業」等により史跡等の整備を行っています。 ③友好親善都市の岡山県井原市とは、相互の産業フェア(まつり)やマラソン大会に市民や市職員が参加しています。また、小学生を対象とした児童交流事業を実施しているほか、ライオンズクラブやシニア野球交流なども行われています。 国外のタイ王国チェンマイ市とは、平成23年度は特に交流事業は実施していない状況にあります。
3. 施策の課題認識及び24年度の取り組み状況(予定) (23年度末で残った課題、既に24年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) ①農林水産業や自然を生かした体験・滞在型の交流の内容や提供体制が今後の大きな課題です。また、山ノ守キャンプ場や天神山交流館の宿泊者や利用者が増えるような事業の企画立案も望まれます。 平成23年度から、関係課や関係団体が連携しながら、魚津の水循環を体験できるツアーや博物館を中心とした学びの場の提供などを内容とする「水の学び舎事業」に取り組んでおり、24年度も引き続き実施します。 ②魚津しんきろうマラソン大会や大学女子野球選手権大会など市外から多くの人が参加する大会を、今以上に市民全体で盛り上げていくことが望まれています。 市制60周年の平成24年度は、全国山鉾屋台保存連合会総会や全国山城サミットなどの大会を実施します。 地域経済への波及効果も大きいコンベンション等の開催の促進を図る必要があります。 ③例年どおりの友好親善都市交流事業を実施します。 市制60周年記念事業を契機に、チェンマイ市との友好親善都市交流事業の今後のあり方を検討する必要があります。	

	※施策の重要度※	重点
部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	総合計画では、定住人口が減少する中で、地域の活性化を図るためには、通学者や通勤者のほか、観光や消費など様々な目的で本市を訪れる「交流人口」を増やすことが重要としています。 特に、地域経済への波及効果が大きいことから、本市での宿泊者や滞在者を増やす取り組みが望まれます。 そのためには、各種コンベンションの誘致や芸術・文化、スポーツイベントの開催に対する支援などの対策を拡充していく必要があります。	

経営戦略会 議における 施策の課題 及び方針	<ul style="list-style-type: none"> 市外からの観光客や来訪者を増やすため、各種コンベンションの誘致や、芸術・文化・スポーツイベントの開催に対する支援を引き続き行います。 自然資源を活かした体験型プランの提供や発掘に努めます。
---------------------------------	---